



宮城のアカウ木

今後、アカウの樹高や樹冠、幹周り等の計測、生育状況等の本格的調査のほか、アカウにまつわる伝承や由来、エピソードなど地域とのかわりについての聞き取り調査を実施しなければならぬと考えています。そして、調査結果を「浦添市指定文化財の指定基準」に照合した上で、指定文化財候補としての可能性を検討していきたいと思っています。調査の際には自治会長を初め、地域の皆様方のご協力をお願いいたします。

このアカウ木について、植物の専門家に観ていただいたところ、「自然のままでこれほど大きく成育したアカウは都市地域の中では少ない。成長の早い木ではないのにもかかわらず、これほどの大きさを有している」ということは、樹齢百年以上と推察される。」という所見をいただいています。

回答

グリーンビューホテル前の区間の相互通行の要望がありました。道路整備の基準となる「道路構造令」によると、「平面交差点では、5つ以上の道路を交差させてはならない」ということになっています。県道38号線とサンパーク通りとの交差点では、取り付く5路線のうち、グリーンビューホテル前の県道38号線を一方通行とすることで、四差路としての扱いとなっています。このことからホテルの前の一方通行を相互通行にすることについては、構造令に抵触し、道路管理者である県の同意を得ることは、困難と考えています。

次に、屋富祖大通りの今後の整備の考え方についてお答えいたします。県道である屋富祖大通りは、現在、幅員12mで都市計画決定されています。

屋富祖大通りは、浦添市の顔としてふさわしい夢のある都市づくりとともに、グリーンホテル前の一方通行路を両面通行道路としての計画等、キャンピングカーの返還を前提とした幹線道路としての屋富祖大通りの整備や将来の考え方と計画をお聞かせください。

意見・要望等



す。本市は、管理者である県に対し、早期整備の必要性を訴えてきましたが、残念ながら、県の財政事情が厳しい上、費用対効果が見込めないとの理由から、未整備のまま現在に至っています。

平成20年6月、屋富祖公民館において、地元商店街有志の方々との意見交換会を行い、様々な意見を伺うことができました。現計画通りの整備を望む方がいる一方、4車線への拡幅を望む方、あるいはサンパーク通り並みの幅員（W18m）を望む方がいるなど、屋富祖通りに対する地域の意見が、充分に集約されていない印象を受けました。

市としては、幅員12メートルで整備し、「歩道と車道の段差をつけない。」「歩道については特徴ある、商店街にふさわしい歩道の整備」といつ



た「国際通りの道路の整備型」を導入することに加え、県道である屋富祖通り（県道38号線）と市道であるサンパーク通りの付け替え（管理移管）を行い、市の方で整備することが事業化を早めることになるのではないかと考えています。

これまで浦添の顔として歩んできた屋富祖大通りの活性化は、道路整備とともに誰もが望むところであり、その主体となる地域の皆様が十分に話し合い、共通の認識と方針を持つことが重要であると考えます。市としては、引き続き地域の皆様と意見交換を行いながら、早期事業化に向けて努めていきたいと考えています。

（都市建設部 都市計画課）

②城間線から国道58号へ左折して、屋富祖交差点でUターンする。

③宇治真線（平成21年2月完成予定）を利用して、泉小公園裏側から牧港の明治乳業へ抜ける。

この悪い面を改善するために、新たに道路を整備するとすると、国の基準による制限が出てきます。市道等補助幹線道路の道路網間隔は、国基準で約500m程度が標準とされていますが、城間線周辺の都市計画道路網の間隔はそれより密になっていますので、道路網間隔の点からみると、必要な水準は満たしており、即、新たな道路を整備するのは困難と考えています。また、市内にはまだまだ道路整備を必要とする地域がある上、道路関係予算が非常に厳しい状況にあること等を踏まえ、伴う新たな迂回路の整備は、非常に厳しいと感じています。



意見・要望等

自治会活動の基盤をなす場所が無く、諸活動に支障をきたしています。自治会・老人会の会議等、操体法も青空の下で行っている現状です。

小さな自治会で財源も乏しく、会員の絶大な理解と協力を得て、長期借入で土地を購入しました。

次は公民館建設でありますので、行政の援助とお力を貸してください。

地域コミュニティの活動拠点となる自治会事務所は、自治会にとって大変重要な施設であることは市も認識しており、現在浦添市では自治会事務所建設補助金、自治会事務所等賃借料補助金及び防衛施設局交付金による学習等供用施設の建設によって、自治会事務所の整備に対する支援を行っています。

回答

浦添ハイツの現状については、市も把握しており、早期に事務所の確保に対する支援を行いたいと考えていたところであります。浦添ハイツの自治会事務所の建設は、建設予定の建物構造にもよりませんが、簡易な建物であれば自治会事務所建設補助金交付規程に基づく補助が可能であると判断しています。

（市民部 市民生活課）

宮城自治会
仲西自治会
屋富祖自治会
合同行政懇談会

・11月11日（火曜日）
・場所 宮城公民館
・参加人数 36人
・市長講話

「浦添市行政全般にわたる中長期的展望及びキャンピングカー軍用地跡地利用計画と道州制導入との関連について」

自治会からの意見要望等

【宮城自治会】
①テラプヌガマを浦添市指定文化財に指定することについて
②ウシク（アカウ）名木を浦添市指定文化財に指定することについて

【仲西自治会】

③仲西地域内の各ハード面の進捗状況について
④アスファルト線状舗装の依頼について

【屋富祖自治会】
⑤屋富祖地域の道路整備について
⑥公民館改築について

追加質問・意見

①学校の空き教室等を利用して、地域の高齢者と子ども達とが交流を持つことはできないか。（宮城自治会）
②学校教育におけるエコ活動の推進について（宮城自治会）
③てだこホールの小ホールの観客席のつくりは、勾配が大きく、足の不自由な方や、高齢者の方が利用しづらい。（宮城自治会）

意見・要望等

宮城公民館東側に何百年の樹齢だろうか、大木のウシクがあります。毎年2回紅（落）葉し、井吹きから新緑へ、自然の摂理には感動するものがあります。樹木は大地に根を張り、年ごとに年輪を増して、人間の目と心を癒し、未来の地球温暖化防止にも役立つものと思います。ウシクを宮城の名木として是非、浦添市の文化財に指定していただきますよう強く要望いたします。